



## CHAPTER 2

# SIP と SDP の正規化

Lua スクリプト環境によって、SIP メッセージを操作する付属オブジェクトおよび関連するすべての Session Description Protocol (SDP; セッション記述プロトコル) が確立されます。スクリプトでは、これらのオブジェクトを気にする必要はなく、次の API の次のセットを使用してこれらのオブジェクトにアクセスします。

- 「[SIP メッセージの API](#)」: これらの API を使用すると、スクリプトでは、多様な方法で SIP メッセージを操作できます。
- 「[SDP API](#)」: これらの API を使用すると、スクリプトでは、多様な方法で SDP を操作できます。
- 「[SIP パススルー API](#)」: これらの API を使用すると、スクリプトでは、1 つのコール レッグから別のコール レッグへ情報を渡せます。
- 「[SIP ユーティリティ API](#)」: これらの API により、Uniform Resource Identifier (URI; ユニフォーム リソース識別子) の SIP URI オブジェクトへの解析を含み、データを操作するスクリプトに役に立つユーティリティが提供されます。
- 「[SIP URI API](#)」: これらの API を使用すると、スクリプトでは、解析済み SIP URI オブジェクトを操作できます。
- 「[トレース API](#)」: これらの API を使用すると、スクリプトでは、トレースを有効および無効にし、トレースがイネーブルかどうかを特定し、トレースを生成することができます。
- 「[スクリプト パラメータ API](#)」: このパラメータを使用すると、スクリプト作成者は、トランク固有の設定パラメータ値を取得できます。

